



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人權と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

第10回南九州3県県境地域医療連携懇話会開催



平成26年8月1日（金）19時からあゆの里にて南九州3県県境地域医療連携懇話会が開催されました。今回、10回目の開催となり、人吉球磨、えびの、伊佐の3地域の医師、市町村、消防等の行政機関、薬剤師会、病院スタッフ等約100名と多数ご出席をいただきました。

まず、佐藤敏信 前厚生労働省健康局長より「医療政策の意思決定のプロセスはどう変化したか？」と題してご講演いただきました。懇親会では木村病院長の挨拶に引き

続き、人吉市医師会会長の外山博之先生にご挨拶を頂き、山村正統先生より乾杯の発声の下、懇親を深めました。最後は球磨郡公立多良木病院病院長 大島茂樹先生より締めのご挨拶をいただき、盛会の内に終了しました。

ご多用の中でのご参加、誠にありがとうございました。

今回初めてご出席頂きました球磨郡公立多良木病院病院長 大島茂樹先生のご挨拶を紹介致します。

南九州3県県境地域医療連携懇話会に寄せて

こんにちは。球磨郡公立多良木病院の大島です。

今年の4月に赴任しまして、早4ヶ月が経ちました。

人吉医療センターの先生方には大変お世話になっておりまして、誠にありがとうございます。脳出血・急性心筋梗塞をはじめとして当院で対応困難な急性期の患者さんを快く引き受けていただき、感謝いたしております。

南九州3県県境地域医療連携懇話会に初めて参加させていただきました。いままで色々な病院の病診連携会議には出席したことはありましたが、3県にまたがって、しかも医療関係のみならず多方面の行政機関も参加してのスケールの大きな連携懇話会は初めてです。

人吉医療センターの果たしている役割の大きさ、そして県境を越えての2次医療圏を支える覚悟を改めて感じました。それと同時に、私たちの病院ではこの地域でどんな役割を果たそうとしているのか、その覚悟が問われ

ているようにも感じました。

10月から病床機能の報告制度が始まり、来年度には地域医療ビジョンが示されます。

病院としてやりたいこと、提供できることをいかに整合性をつけて将来構想にするかに四苦八苦していました。もっと公共性のある広い視点で考えなければならぬと感じました。地域のニーズに応えられるような病院づくりを目指していきます。

そういう広い視点に気付かせていただきましたこの懇話会に感謝いたします。

最後に、南九州3県県境地域の今後ますますのスムーズな連携とお集まりの皆様方の御健勝を心から祈念いたしまして、私の挨拶の言葉といたします。どうもありがとうございました。

球磨郡公立多良木病院病院長 大島 茂樹

第29回ボランティアスクール開講

去る平成26年7月24日(木)～25日(金)、人吉市社会福祉協議会主催のボランティアスクールが、人吉市内の小学6年生21名(男子7名、女子14名)の参加で開講されました。

「これからは地域で高齢者を支えることにもなり、ボランティアの活動が必要になってきます。日本ではまだまだですが、外国では、ボランティアの経験は高く評価されています。今回の体験を多いに楽しんでください。」との木村院長のエールを受けて、70分間の認知症サポート養成講座がはじまりました。その後5つの班の分かれて、病棟での食事介助や車椅子での案内、9階病棟では新生児室で恐る恐る赤ちゃんを抱っこする女子や男性看護師にぴったりくっついて病室を訪ねる男子児童の姿が印象的でした。また、リハビリテーションセンターでは電気治療を体験した児童から「わあー」という声が聞かれたりと様々な体験をしてもらいました。院内見学では、屋上ヘリポートから日頃見ることのできない画像診断センターの裏側まで、CTの画像をのぞき込む児童の姿も見られました。また、当日は、患者



図書室で当院ボランティア講師による川柳教室が開催されており、小学生の皆さんにも教室に参加してもらい、「ボランティア」をお題に一句。「ボランティアいろんな人のいい笑顔」等名句が次々に生まれました。

最後は「将来、皆さんが医師や看護師、その他医療従事者になってこの病院で一緒に働くことを楽しんでいます。」との院長の言葉でボランティアスクールは閉講となりました。

この体験が皆さんの良き思い出となりますように。

総務企画課 谷口 純子

高校生1日看護体験

7月31日に人吉球磨の高校より29名の高校生が看護体験にきました。各病棟を訪ねてもらい、患者さんと触れ合っていました。感想文を頂きましたので、紹介致します。



私は、昨年の冬、人吉医療センターに入院していました。その時お世話してくださった看護師さんは明るく、優しく接してくださり、初めての入院で不安だらけでしたが、とても楽な気持ちで入院生活を送ることができました。この時に、私も患者さんの心と体のケアをできたらと思い、看護師の仕事に感心を持ち、今回の一日看護体験に参加しました。

今回の体験では、患者さんの血圧と体温を測ったり、車椅子を押しながら散歩したり、お話をしたりしました。車椅子を押したのは、このときが初めてで速度も方向転換の仕方も分からず、押している間ずっと緊張していましたが、無事部屋に着き、「ありがとう。」と言われたときはとても嬉しかったです。

いつもお世話される側ですが、初めてお世話する

側を体験してみて、看護師さんは患者さんと接する中で顔色を見ながら状態を判断するにあたり、患者さんの目線で話されていて、コミュニケーションを取るにあたってすごい気配りだと思いました。

今回の体験は、短い時間でしたが、次から次へとやることであり、充実した時間で大変だと感じた反面、患者さんが元気になっていく様子を見ることができ、とてもやりがいのある仕事でもあると感じ、私は将来患者さんから信頼されるような看護師になりたいと思いました。

一日看護体験はとても貴重な体験になり、御指導してくださった方々には感謝しています。ありがとうございました。



人吉高等学校 3年 吉村 香恵

自転車部「サイクルマラソン阿蘇望」に参加

「サイクルマラソン阿蘇望」に人吉医療センター自転車部として参加しました。この大会は日本一完走率が低い大会として全国的にも有名で、北は北海道の方も参加し、約1,000名が出走する大きな大会です。今回は7名の部員が参加しました。

コースは阿蘇の4つの山を越えてゴールを目指す120 kmと2つの山を越える70 kmのコースがあり、アスペクタ南阿蘇をAM8時から5分毎に50名がスタートします。

私を含め5名が今回70 kmにエントリーし、2名が120 kmに出場しました。しかし出走後20 km地点の草千里を目指す途中にもものすごい雷雨に合い、真横に雷が落ちるかのような悪天候に泣く泣く引き返すことになったのですが、それよりもずっと手前でタイムオーバーの足切りになって、その悔しさを打上げで後輩に飲ませて晴らした口ほどにもない相談員のYさん、寝坊で出発時間を遅らせ、大会後の温泉でも全員を待たせ、帰る時間も遅らせたスーパーキーの眼科Mくん、雷雨の中、勇敢に走り切った恐いもの知らずの循環器のN先生、医事課のCさん、総務のKさん、他の参加者の豚汁が足りなくな



ると言われながら4杯を完食した私など、いろんなキャラクターのいる自転車部の仲間と楽しく練習し大会で走れたことが何よりの成果です。

次に目指す大会は9/28のやまなみドリームライド、11月にも鹿屋市で行われる「ツールドおおすみ」に出場するなど、しっかり練習し、しっかり活動を行っています。

興味がある方は最近家を建てた検査課の濱津さんまで声をかけてください。

臨床工学技士 宮原 俊介

ハワイ研修を終えて



8月6・7日の2日間にわたり、ハワイ大学医学部 Sim Tiki シミュレーションセンターで行われた resident course に、私を含め研修医5名で参加させて頂きました。ハワイ大学医学部はホノルル国際空港からタクシーで20分、ホノルル島の中心部であるワイキキからは10分ほどの場所にあります。大学構内にはヤシの木などが立ち並んでおり、リゾート感溢れる非常に美しいキャンパスでした。天気も快晴、心地良い南国の風に吹かれて、素晴らしい場所で研修に参加できる幸せを存分に感じながら初日のコースが始まりました。

Sim Tiki シミュレーションセンター内には大画面スクリーンを備えたカンファレンスルームや、患者の様々な状況を再現できるシミュレータが配置されたシミュレーションルームなどがあり、充実した研修環境でした。中でも驚いたのは、シミュレータをはじめとしたシステムの精巧さです。その時々バイタル、患者に対して行った処置等が秒刻みで全てコンピュータ上に保存されてお

り、部屋に設置されたカメラにより実際の研修中の映像も録画されます。これによりシナリオ終了後に参加者は自らの行動を正確にレビューすることができるため、指導者から、あるいは参加者どうしの議論を通して、適切なフィードバックを得ることができました。シナリオはレジデントが当直中に患者が急変したとコールを受けるところから始まるもの、あるいは換気・挿管困難の患者への対応を試すものなど実臨床に即した多彩なものが用意されており、非常に勉強になりました。

とても楽しいハワイ研修でしたが、唯一心残りがあるとすれば休日にハリケーンが3つホノルルを直撃したため、海に行けなかったことでしょうか。ホテルの部屋でトランプ漬けの1日でしたが、いい思い出になりました。最後に、このような素晴らしい機会を授けて下さったす

べての方々に心より感謝致します。本当にありがとうございました。



人吉医療センター 初期臨床研修医 堀川 学

食中毒について

食中毒とは、食中毒の原因となる細菌やウイルスが付着した食品や有毒・有害な物質が含まれる食品を食べることによって起こる健康被害のことを言います。多くの場合、頭痛・発熱、嘔吐・腹痛・下痢等の胃腸炎症状を引き起こします。食中毒を防ぐためには、食品などに細菌を「つけない」、食品に付着した細菌を「増やさない」、食品や調理器具に付着した細菌やウイルスを「やっつける」という3つのことが原則となります。

- ① **つけない**→手にはさまざまな雑菌が付着しています。食中毒の原因菌やウイルスを食品につ

けないよう、調理を始める前、食卓につくときなど必ず手を洗うことが大切です。

- ② **増やさない**→細菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発となります。食品に付着した菌を増やさないために低温で保存し、なるべく早めに食べるようにしましょう。

- ③ **やっつける**→ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅します。肉や魚などよく加熱して食べましょう。まな板や包丁などの調理器具にも細菌が付着することがあるため、洗剤でよく洗い熱湯をかけて殺菌するとよいでしょう。



栄養管理室 北岡 志織

第114回 清流ハートクラブ開催

7月24日(木)に心臓リハビリテーション患者会「清流ハートクラブ」が開催されました。

毎月開催されているこの会も今回で第114回を迎え、18名の参加でした。

今回は「救急対応について」と題して心臓リハビリ室の中津由香里看護師より、救急車の適正利用、救急車に乗るときに、心肺蘇生法をテーマに実技も含めて講演が行われました。

内容は、主に心疾患の症状とはどういうものか、救急車を呼ぶ症状とは何か、救急車の呼び方・準備するもの、その場でできる応急処置等についてで、また、市町村の事業で配布されている、緊急連絡先等がわかる「いのちのボタン」や身元等が分かる「SOSキーホルダー」についても紹介がありました。

最後に3班に分かれて、医師や看護師などのスタッフの指導のもと、人形を使っての心臓マッサージやAEDの使い方など心肺蘇生法の実技を行いました。



患者さんより救急時は気が動転してしまい、何をすればいいかわからないということがあるかと思います。今回の講義を受けて何か一つでも覚えていただき、緊急時に役立てていただければと思います。

心臓リハビリテーション患者会事務局
医療福祉連携室 金栗 由佳

シリーズ ヨーガ Vol.4

ヨーガで“ゆるやか、和やか、心地よか”

ねじりの体位

【アルダー・マッチェンドラ・アーサナ、わにの体位、など】

ねじりの体位は立って、座って、仰向けに寝ながらといういろいろあります。共通しているのは頸椎、胸椎、腰椎からできている脊椎をまっすぐに立てて行うことです。

アルダー・マッチェンドラ・アーサナという背骨をねじる体位があります。アルダーとは半分という意味があり、マッチェンドラはこの体位を創ったハタ・ヨーガの聖者の名前です。この体位で大切なのは二つのシリ山を床にしっかりつけて、ねじることです。

仰向けに寝て行うねじりの体位には、わにの体位があり、

両肩を床につけたまま、脚の動きで骨盤部を回転させてねじりを入れます。骨盤内のゆがみをととのえ、腰、骨盤内の血行がよくなり、初心者・高齢者の人にやりやすい体位です。

背骨の周囲には脊髄を始め、脊髄神経、交感神経、副交感神経などが集中しています。ねじるという動作により、それらの神経が複雑に反応しますし、ねじることによって、かなりの腹圧がかかるので、内臓に圧迫を与え、呼吸を深くすればするほど、内臓のマッサージ効果も高まります。

参考本：「しあわせヨーガ」「道友Ⅲ」

日本ヨーガ禅道友会教師
㈱日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士 菊池 純子

当院では毎月1回菊池先生のご指導の下、ヨーガ教室を開いています。ご興味のある方は、是非ご連絡下さい。

Tel : 0966 (22) 2191 総務企画課

JCHO 人吉医療センター地域協力会総会開催

去る8月11日 人吉医療センター地域協力会総会が行われました。地域協力会は人吉医療センターと地域住民が連携を密にして、当院の充実発展に資することを目的とした会です。会員は近隣町内にお住まいの方をはじめ、地域の方で会の活動内容に賛同し協力を申し込んで頂いた皆様に結成されております。主な活動として有事における入院患者さんの避難活動への協力や災害訓練での患者役・炊出しのサポート、他に花壇の整備等で現在122名の皆様に登録いただいております。

総会には約50名の会員の皆様が出席され、会長の丸尾喜世人様より、8月31日の人吉医療センター災害実動訓練の参加協力を会員の皆様に呼びかけていただきました。また総会終了後は意見交換会を行い、ご出席の方々より日頃の病院について率直なご意見などをいただき、大変有意義な時間となったことは言うまでもありません。今後ともよろしくお願いします。

総務企画課 木下 学



外科 特別臨床実習

6月30日から、7月4日の5日間、熊本大学消化器外科の臨床実習で、人吉医療センターにて実習をさせていただきました。私自身は、出身は熊本ではないのですが、祖父が熊本にいたため何度か人吉には訪れており、自然が多く、雰囲気の良い街という印象を持っていました。また、昨年度に大学で実習を行っていた際に良くしてくださった先生が今年度より人吉医療センターに転勤となり、是非人吉にと誘われたため、今回人吉医療センターでの実習を選びました。

実習では、朝の回診から始まり、手術、病棟業務、救急外来などを見学させていただきましたが、木村病院長をはじめとする、外科の先生方や、研修医の先生方にご指導をいただきまして、大変充実した5日間を過ごすことができました。

手術は、大学ではあまり見ることでできないヘルニア根治術や、ストリッピング術などから、結腸切除術まで様々なものを見学することができ大変勉強になりました。また、救急外来では、初期対応から、検査、治療といった流れを見学することができまし

たし、先生方の時間のあるときには、今どういう状況なのか、何を考えて、どういう検査をするのか、といったことを質問形式で教えていただき、日頃の勉強では学ぶことのできないことを学ぶことができましたと思っています。

5日間の実習でしたが、人吉医療センターの雰囲気の良さはとても印象的でした。研修医の先生から上の先生まで、和気藹々として活気があふれており、実習がとても楽しく、時間があっという間に過ぎていくようでした。この一週間で得た経験を無駄にすることなく来年からの医師としての生活に役立てられるよう今後とも一層励んでいこうと思います。最後になりますが、木村先生をはじめとする、人吉医療センターの職員の方々には大変お世話になりました。1週間大変お世話になりました。ありがとうございます。



左：薬師寺 副院長

熊本大学医学部医学科6年
坪木辰平

笑って健康促進！ 第103回 翔会開催！

平成二十六年七月開催分の句をご紹介します。
どうぞ鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十六年七月分

- 咲かせたい花があるから水をやる 比呂志
- 自分史の約半分は苦笑い 比呂志
- 優しさは日頃のくらし出てきます レイ
- 窓あけて風の通りがやさしいな レイ
- 孫達よ元気で笑顔忘れるな 保義
- 忘れないやさしい母の面影を 保義
- 検査後の医者の笑顔にホッとする 圭子
- 宝くじやと当たりて夢の中 圭子
- 声出してお口の体操アイウエオ 佐津子
- 桃太郎あなたは旨い庭トマト 佐津子
- 病院で体験学習笑顔だね 智子
- やさしいね何かやるたびありがとう 智子
- 見るだけで効いてきた様な薬草酒 カツ子
- おふくろの味がしみこむいも煮めし カツ子
- 朝の膳笑顔で頂き福が来る 緋紗
- 紀子さまの笑顔やさしい春陽のよう 緋紗
- やさしさについてほだされて詐欺に逢い 健二
- 旨煮食べ眉毛への字の笑い顔 健二
- 朝おきて病室から見える町灯り 十善
- 隣りから訛のちがう話声 十善

次回も第四木曜日に本館二階図書室で開催致します。
ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。
院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

新 任 紹 介



のもと だいち
野元 大地 (地域研修 研修医/1ヶ月間)

最終卒業校：熊本大学

趣味：読書

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：1ヶ月間、地域医療でお世話になります。よろしくお願いします。



ほしはら ゆき
星原 由紀 (5階・看護師)

最終卒業校：川内看護専門学校

趣味：ドライブ

モットー：笑顔を忘れずに

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：初心にかえり、何事にも向上心を持って頑張りたいと思います

8月の勉強会報告

8月5日(火)第70回 乳腺カンファレンス

1.「乳がん看護認定看護師への相談内容と対応」

人吉医療センター 乳がん看護認定看護師 地下 奈緒さん

2.「乳腺小細胞癌の一例」

人吉医療センター がん化学療法看護認定看護師 矢立 雅章さん

3.「分子標的薬について」

人吉医療センター 外科 緩和・在宅医療センター長 西村 卓祐先生

8月18日(月)大腸癌Expert Meeting in Hitoyoshi

「癌治療の最前線ー大腸がんを中心にー」

熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科学 教授 馬場 秀夫先生

PIPC セミナー ベーシックコース in 人吉 のご案内

PIPC セミナーとは？

PIPC (Psychiatry In Primary Care) は、シュナイダーらによって米内科学会 (ACP) における教育セッションのために創始された、精神医学教育プログラムです。

ベーシック・コースでは、これから精神疾患の診療に取り組もうとする初心者を対象にして、

1. 具体的な問診方法、患者さんの長い話をコントロールする方法
2. 内科医/プライマリ・ケア医にとって馴染みの薄い精神疾患群に関するエッセンスを、現場で出会う頻度を考慮して絞りこみ、実践で役立つ診療ツールとしてまとめた「MAPSO」システム
3. うつや不安の薬物療法や自殺のブロック法、精神科医との連携方法

…などについて、参加型のワークショップ形式でとても楽しく学ぶことができます。

日 時 10月18日(土) 18~19時：前夜祭・プレセミナー

19日(日) 9~16時：PIPCセミナー・ベーシックコース

会 場 独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター (熊本県人吉市老神町 35)

対 象 心療に関心を持つ医師、医学・医療系学生、その他の医療保健福祉従事者

会 費 3,000 円 (昼食代含む)

問い合わせ先 main@hitoyoshi.jcho.go.jp まで 地域の先生方の参加をお待ちしています



8月のフレッシュマンセミナー報告

8/7 上加世田 奈央 「えびのについて」

8/14 木戸口 愛美 「日焼け止めについて」

8/21 中尾 健人 「薩摩川内市について」

8/28 村田 周作 「始良市について」